



地域ニュース 6月号 第348号



発行 江古田区民活動センター運営委員会
〒165-0023 中野区江原町 2-3-15
電話 3954-6963 FAX 3954-6964
E-mail:nakano_egota@lagoon.ocn.ne.jp
http://www.nakano-egota.gr.jp

図書館を楽しもう

大人も子どもも『読書離れ』が言われ、本屋の廃業が相継ぐ中江古田地域の3か所の図書館を取材しました。本の魅力を知り、本好きの子ども達がたくさん育って欲しいと願って紹介いたします。

地域の図書館案内 来館して新しい発見 中野区立江古田図書館

江古田図書館は、地域の方々の要望で33年前に開館し、お役立ち情報をいつも発信しています。子ども達には「わくわくえほんたいむ」「夏休み宿題おたすけ隊」。そして大人も楽しめる「江古田ハッピー福袋」(毎月5日、15日、25日)などと、催しに参加したり、一人静かに読書など。地元の郷土史もあります。ぜひ、来館して新しい発見や体験をして下さい。



2階「健康・医療情報コーナー」

世代をこえて良く読まれている絵本をご紹介します。

『ふんふん』(4.5才〜)

作 なかがわりえこ

絵 おおむらゆりこ

『はらぺこあひむき』(幼児)

作 エリックカール

訳 もりひさこ

『おきななかげ』(幼児)

作 トルストイ(ロシアの昔話)

訳 内田莉沙子

絵 佐藤忠良



詳しくは、直接江古田図書館へあるいは中野区立図書館ホームページ。

中野区立図書館報「シイビブリア」(隔月1回末日発行)は、本に関する情報や中野区の街の情報などが掲載されています。また表紙がブックカバー(単行本、文

庫本に対応として利用できる優れたいつでもいただける情報誌です。ご利用ください。

【開館時間】午前9時〜午後8時
【休館日】

定期休館日・毎月第2月曜日

(休日の時は直後の休日でない日)

館内整理日・毎月最終金曜日

(休日の時はその前日)

年末年始12月29日〜1月3日

特別整理期間「カレンダー」など

でお知らせします

【所在地】中野区江古田2-1-11
☎(3954-6)0300-

子どもたちと本の 幸せな出会いが！ 東京子ども図書館



江原町1丁目の閑静な住宅街に建つ『赤レンガ』の素敵な図書館、1Fは、都内4

カ所ではじめられた家庭文庫が母体となつて生まれた私立の図書館です。

1997年(平成9年)、江原町に新館が完成、移転してきました。地域との関わりも深く、毎年7月に催されている江古田区民活動センター運営委員会主催の「平和のバトン」では、資料提供や絵本の読み聞かせなど行っています。

また、江原保育園・やはたみずのとう幼稚園・江古田小学校・江原小学校の子どもたちに「お話や本の紹介」をして、大変喜ばれています。



「わらべうたの会」

●各部屋の紹介

★児童室 絵本・物語・詩など蔵書は約8,500冊

「おはなしのいかだ」(わんぱく)

毎週水曜日と第2・4土曜日

「わんぱくの会」(おた)

第1・3土曜日

★資料室 内外の児童図書や児童文学関係の研究書など約19,800冊を備えた研究資料室です。海外の児童図書賞受賞作品(原語)や日本と世界の昔話集をそろえています。

●講演・講座・お話し会・人材育成・出版活動など多岐にわたる事業も実施しています。

●訪問した時に、子ども達が本の魅力を知り、本好きになつてもらうために、はじめての読書の楽しさを体験してもらいました。

『幼い頃から本を身近におき、読んであげること。字を覚えた後も、子どもが喜ぶ間は読み聞かせを続けることです。そして、子どもの個性に合わせた本選びが大事ではないでしょうか』と、とても分かりやすいアドバイスをいただきました。

【開館日】

★児童室 火・水・金曜日 午後1時～5時

土曜日 午前10時30分～午後5時

★資料室 火・水・金曜日 午前10時～午後5時

土曜日 午前10時30分～午後7時

【休館日】 日・月・祝日

(児童室・資料室は、木曜日(休館)年末年始、夏期特別整理期間)

【所在地】中野区江原町1-19-10
〒203-0205 (03) 571-7111

赤ちゃんから始まる本の世界
もりのいえ
絵本ライブラリー

もりのいえは、「江戸田の杜」に住む皆さんと周辺地域の皆さんが交流し、一緒に作る居場所として昨年10月開設されました。

この中に絵本ライブラリーがあります。利用する人は家庭登録が必要で、現在約300世帯が登録し、0～2才未満の子ども達がお母さんと一緒に来館しています。土日も開館しているので、お父さんと一緒に来る人もいます。毎週月曜日には、特定非営利活動法人げんきな図書館のスタッフによる「赤ちゃんおはなし会」も開かれています。



「赤ちゃんおはなし会」

当ライブラリーは地域との連携を重視し、スタッフにも地域の方を確保したいと、七中のPTAの方にお願いをしております。

蔵書数は約5000冊、中には永らく中野に在住され、「はろぺこあおむし」などの有名な絵本作家故もりひびさし氏の寄贈による絵本文庫もあります。

利用料金は、月3000円(江戸田の杜マンション)居住者は不要、現在登録者の7割が周辺地域居住者となっています。

【開館時間】午前10時～午後6時

【休館日】水曜日

【所在地】中野区江古田3-14-1

プライムメゾン

江古田の杜ウエスト2階

【運営】特定非営利活動法人

ZEROキッズ

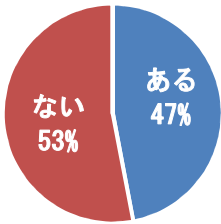
【連絡先】江古田の杜リブライニング
広報事務局

〒203-0205 (03) 571-7111

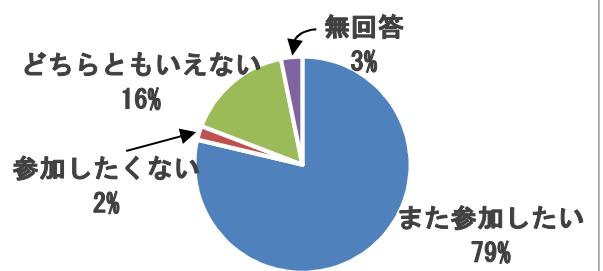
江古田区民活動センター
利用者アンケート結果

会館利用者200名に対して今年3月にアンケートを行いました。結果は次のとおりです。

地域事業（講座・講演会・検討会など）に参加されたことがありますか？

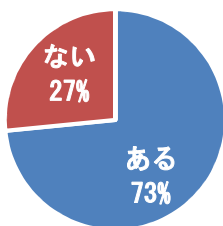


地域事業に参加したことがある方へ参加していかがでしたか？



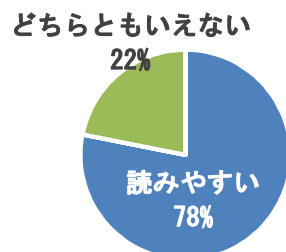
今後取り組んで欲しい事業として、防災関連事業などがありました。また、参加者からは「とてもためになる講座でした」などご意見がありました。

地域ニュースをご覧になったことがありますか？



地域のイベント情報、防災・防犯に関する情報、地域支えあいに関するなどのご希望がありました。

地域ニュースを、ご覧になった方へ読みやすかったですか？
読みにくかったですか？



2019年度小中学校

【江古田小学校】新1年生数88名

新任校長 松井貴子

(江古田小副校長より昇任)

【江原小学校】新1年生数99名

【第七中学校】新1年生数91名

盆踊り日程

江古田水川神社境内

7月13日(土)・14日(日)

午後6時30分～9時

●江原公園

7月20日(土)・21日(日)

午後7時～9時

●みずの塔公園

7月27日(土)・28日(日)

午後7時～9時

雨天時 7月29日(月)

(太鼓教室の小学生 午後6時～7時)

●片山北野神社境内

8月2日(金)・3日(土)

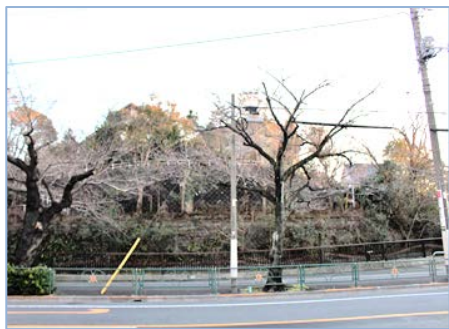
午後7時～9時

新江古田今昔(二三回)

村名の由来

片山村(現在の松が丘)の名は、村の北側の妙正寺川沿いが、崖になっており(今も新青梅街道から松が丘二丁目を見上げるとそれは山のように見えます)、片側半分が山に見えることから付いた名と考えられます。

一方、上高田村の名は、戦国時代に、後北条氏の領地として、このあたりから豊島区にかけての一带が高田といわれており、江戸時代になって、豊島区高田付近を下高田、それに対してここを上高田と分けられてきた地名です。



新青梅街道からの松が丘二丁目

江戸時代は小さな農村

片山村も上高田村も江戸時代初頭以来、旗本の細田氏が領主でした。

江戸時代初期、片山村の生産高は三十七石、民家は北側から東側にかけての一段低くなったところ(松が丘二丁目の東側と一丁目の北側)に十六軒あったと伝えられています。田畑が半々の小さな村で、村の中心は北野神社(松が丘二丁目二十七番)のあたりです。神社では、大正時代まで弓矢で吉凶を占う「おびしゃの神事」という行事が行われていました。

上高田村の石高は、慶安年間(一六四八―五十二)に五十一石であったと伝えられています。文化・文政年間(一八〇四―一三〇)には民家が約六〇軒、現在の上高田三丁目六番から三〇番あたりに集中していました。この村の寺は東光寺、鎮守は氷川神社でした。

なかの区報

平成5年第1176号

「なかの」を歩く・・・

地名編 より抜粋

活動報告

認知症サポーター養成

3月16日(土)

こども認知症サポーター養成講座が開催され20名の参加がありました。



当日は認知症サポート劇団(MIKAN)による寸劇で、認知症の人との関わり方について考えました。

講習修了後にはサポーターの証、オレンジリングをいただきました。

こどもの料理教室

3月27日(水)男の料理の4名の方々に指導いただき「こどもの料理教室」が開催されました。

今回は、ハンバーグステーキにキャベツのサラダなど、包丁で、細かく刻むことにチャレンジしました。

自分たちで、作った料理をお腹いっぱい食べました。



もよおし案内

江古田区民活動センター運営委員会

★七夕イベント

江原町二丁目ショッピング通り商友会の「七夕祭り」に合わせて開催します。

【日時】7月7日(日) 午後5時～7時

【場所】江古田区民活動センター

【内容】万華鏡づくりやポッチャなど子どもと楽しめるイベントです。6月下旬より、笹の葉に願い事を書けます。

★平和のバトン

【日時】7月27日(土)

午前10時～正午(予定)

【場所】江古田区民活動センター 洋室・1階ふれあいギヤラリー

【内容】江古田図書館、東京こども図書館、江原小学校、江古田小学校、第七中学校からの「平和に関するおすすめの本」紹介と平和に関する企画と展示など、今年も行います。

【共催】青少年育成江古田地区委員会



◎夏休みイベント予定

◎江古田イキキ知つく講座 子どもの料理教室
ピンホールカメラ

◎知ルン知まい@Egota

江古田の獅子舞を知ろう。

◎地域のイベントに参加してみませんか?

運営委員会では、様々なイベントなどの事業をお手伝いして下さるボランティアを募集します。

いずれも詳細については、お問い合わせ下さい。

【問合せ】江古田区民活動センター運営委員会

☎・FAX 本紙一面

4月からの新職員 事務局員紹介

【北部すこやか福祉センター】アウトリーチ推進担当 課長 滝浪 亜末

【江古田地域事務所】 池田 昌弘



池田昌弘 藤田綾子

【江古田区民活動センター運営委員会】 委員長 藤田 綾子 事務局長 藤田 綾子

もよおし案内

みずの塔ふれあいの家

■みずちゃんタイム「七夕会」
 【日時】7月5日(金)
 11時～12時
 【内容】大きな笹竹に短冊や飾りをつけて七夕をみんなで楽しみます。乳幼児親子の方対象です。当日に向けて飾り作りもします。詳しくはお問い合わせください。



哲学堂公園

篠笛教室

伝統的な和楽器「篠笛」の吹き方を学ぶ連続講座
 【日時】6月16日(令和2年2月16日)毎月第3日曜日
 ただし、8月は除く全8回
 午前10時30分～12時
 【場所】哲学堂公園
 【定員】小学4年生以上の方
 先着20名
 【参加費】
 大人(中学生以上)16,000円
 小学生8,000円
 親子2人で22,000円

哲学堂辻講釈

語りのプロ、話道家が出演。物語の語りを開催します。
 【日時】6月15日(土)
 午前11時～12時
 【場所】宇宙館
 【定員】先着20名
 【参加費】500円

民族芸能のひびき④

南米の民族音楽「フォルクローレ」のライブを開催します。来場者多数の場合は外からの観覧になる場合もあります。
 【日時】6月23日(日)
 午前11時～午後2時
 【場所】宇宙館
 【定員】会場へ直接
 【参加費】無料



区民活動センター等における受動喫煙防止対策について

2018年7月に、望まない受動喫煙の防止を図ることを目的とした「改正健康増進法」と「東京都受動喫煙防止条例」が公布されました。



今年7月1日から、その一部が施行され、区民活動センター等、区有施設の喫煙に関する規制が開始されます。それに伴い、区民活動センター等の屋外喫煙所は廃止し、現在設置されている吸い殻入れは撤去していただくことになりました。

区有施設を利用する皆様にはご不便をおかけいたしますが、「改正健康増進法」及び「東京都受動喫煙防止条例」の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【問合せ】健康福祉部(中野区保健所)健康企画課保健企画係(中野区中野2-17-4)
 ☎(3382)2428

集会室の抽選

8月利用分 6月17日(月)
 9月利用分 7月16日(火)
 地元団体 9時から
 一般団体 10時30分から

はり・マッサージ

60歳以上の区民の方
 各会場先着14人まで
 ・江古田区民活動センター
 6月25日、7月23日
 毎月第4火曜日
 ☎(3954)6811

みずの塔ふれあいの家

6月21日、7月19日
 毎月第3金曜日
 ☎(3954)6755

松が丘シニアプラザ

6月27日、7月25日
 毎月第4木曜日
 ☎(5380)5761

参加費 900円
 てぬぐいを1持参ください
 午前9時30分～午後4時30分

運営委員会だより

【会議】(開催済み)
 役員会・町会長会議 4月12日 5月17日
 広報部会 4月25日、5月23日
 地域事業部会 4月25日、5月23日
 (その他)友愛クラブ会長会、ボランティアネットワーク会議、地区委員会会議等への出席

編集後記

【事業】(開催済み)
 第44回サロン・コンサート
 5月15日
 (通年事業) 童謡講習会、ダンス、健康体操、シニアヨガ、フラダンス



『平成』から『令和』へ…元号が変わった歴史の節目の『第1号(通し348号)』を発行しました。

今回は「図書館を楽しもう」と題して、地元の図書館と絵本ライブラリーを取材し紹介記事を掲載しました。是非、訪ねてください。

さて、初夏がもう目の前です。今年も『酷暑』に悩まされるのか、『熱中症』に襲われるのか、今から心配しています。少しくらい腰が痛くても、毎日しっかりと歩いて、食べて、飲んで(う)、体を鍛えなければなりません。みなさま、ご自身の「自愛」ください。(吉村記)

8月号は7月25日発行予定